



2022年2月25日

各位

会社名	株式会社	吉野家ホールディングス
代表者名	代表取締役社長	河村 泰貴
	(コード番号	9861 東証一部)
問合せ先	常務取締役	小澤 典裕
	電話番号	03-5651-8771

サステナビリティ基本方針策定およびマテリアリティ（重要課題）の特定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、吉野家ホールディングスグループの「サステナビリティ基本方針」ならびに「マテリアリティ（重要課題）」を決議しました。今後、当社グループが掲げる経営理念『For the People』と長期経営ビジョン『NEW BEGINNINGS 2025』の実現に向け、「サステナビリティ基本方針」と「マテリアリティ（重要課題）」に基づき、サステナビリティ経営を推進してまいります。

1、吉野家ホールディングスサステナビリティ基本方針

当社のサステナビリティに関する基本的な考え方を示す「サステナビリティ基本方針」を下記の通り策定しました。

サステナビリティの考え方

吉野家ホールディングスグループは、経営理念『For the People』が示す「企業は社会のニーズを満たし、人々の幸せに貢献するための存在である」との認識を具現化すべく、事業活動において環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）の視点を重視しています。

近年、地球環境や社会を取り巻くさまざまな問題が顕在化し、グローバルに事業を展開する当社グループにとって、それらへの対応は重要な経営テーマとなっています。当社グループは、ESG経営の推進を通じて環境・社会の課題解決を図り、ステークホルダーの皆様とともに持続可能な社会を実現してまいります。

当社グループは、長期ビジョン『NEW BEGINNINGS 2025』のもと、飲食業を再定義する新たな市場創造と価値提供に取り組んでいます。飲食業の再定義とは、現在のビジネスモデルに代えて長期的に運用でき、力強く持続的な成長をもたらすビジネスモデルづくりであり、事業を存続していくために不可欠な転換です。

飲食業の再定義を基本方針に掲げる長期ビジョンは、SDGs（持続可能な開発目標）の達成にもつながるテーマを多く含んでいます。当社グループは、全社を挙げてこれを遂行してまいります。

2、マテリアリティ（重要課題）

当社グループのサステナビリティの考え方に基づき、近年の社会環境の変化、社会的要請を踏まえ、さらなる企業価値の向上を推進するため、ESGの観点から事業活動と社会課題の関連性を明確にし「企業の持続的成長」及び「持続可能な社会」の実現に資するマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

マテリアリティ（重要課題）

マテリアリティ	SDGsへの貢献	果たしたい役割（なりたい姿）
ダイバーシティ&インクルージョンを実現し「ひと」の成長と活躍を促進	5 5.ジェンダー平等を促進する、8 8.働きがい、経済成長、10 10.人や国の格差をなくす	「ひと」が介在することで生まれる価値や喜びを追求する企業として、労働環境の改善や多様性の確保、人材育成に注力します
より多くのお客様に「食」の楽しさと健康を提供し、豊かな暮らしを実現	1 1.平和と公正、2 2.健全な食生活、3 3.健全な生活と福祉	圧倒的なバリューのある「食」の提供や、安全で健康に寄与する商品の開発により、人々の暮らしの豊かさに貢献します
グローバルビジネスの展開による地域社会の発展への貢献	2 2.健全な食生活、8 8.働きがい、経済成長、17 17.持続可能な開発	グローバル出店を通じて高品質なサービスや食文化を提供し、雇用の創出を促進することで、地域社会の発展に寄与します
お取引先様との共創による持続可能なサプライチェーンの構築	12 12.持続可能な消費と生産、15 15.陸の豊かさを保つ	お取引先様とともに環境・社会に配慮した責任ある調達を行うことで、持続可能なサプライチェーンを実現します
環境に配慮した事業活動による気候変動対応	7 7.エネルギーをクリーンにする、13 13.気候変動に具体的な対策を、17 17.持続可能な開発	フードロスの削減やコストダウンを伴う環境負荷軽減施策を実施し、地球環境の保全と経済成長を両立します



以上